

SKY DOG[®] SPORT

vol.24

須貝ひとみ & Lien

初の女性グランドチャンピオン誕生！



特集

JAPAN FINAL 2013 NIIGATA
チャレンジカップ 2013 茨城つくば
兵庫但馬



第20回記念 新潟市長杯

フリスビードッグ日本一決定戦

JAPAN FINAL 2013

JFA FRISBEE® DOG
CHAMPIONSHIPS 2013

11 2 3 4

第20回目を迎えたジャパンファイナルは、協会本部所在地であり、日本におけるフリスビードッグ発祥の地である新潟市での開催となりました。

フリスビードッグの歴史の節目となる第20回グランドチャンピオンはどのチームに？そして、レディースチャンピオン、スモールドッグチャンピオン、ユースの部団体並びに個人の部チャンピオン、シニアの部チャンピオン、ペアの部チャンピオンはどのチームに決定するのか？それぞれのカテゴリーの日本一が決定する瞬間がいよいよ始まりました。

第20回ジャパンファイナル開催に当たりまして、新潟市長杯の冠を戴き、新潟市様の全面的なバックアップとともに、多くのご協賛者様よりご協力を頂きましたこと、御礼申し上げます。

■ ユースオープンの部 チャンピオン決定戦

晴天で迎えた第一日目、団体の部並びに個人の部の日本一を決めるユースの部。フリスビードッグ甲子園も11年目の大舞台となりました。

個人戦は予想以上のハイスコアな展開となりました。そんな中予選トップに立ったのは深谷浩之&天功（ウイペット）チーム。2位以下のチームに8ポイント差をつけ迎えた決勝、予選4位から決勝で32ポイント出した中村優斗&Charo（ボーダーコリー）チーム、同じく決勝で32ポイントを出した四方田竜&SOL（ボーダーコリー）を振り切り見事、頂点に立ちました。

団体戦では個の力を団結させ勝ち上がった3チーム、岐阜県、福岡県、埼玉県が決勝へ。

ここでも個人戦優勝の深谷&天功チームを中心に力のあるメンバーを揃えた岐阜県が見事優勝。前年優勝、2連覇を目指した福岡県は涙をのむ形となりました



COMPETITION DATA

開催日 **2013年11月2日(土) ~ 4日(月・祝)**

会場 **太夫浜運動公園 球技場**
(新潟県新潟市北区太夫浜3900-2)

主催 **日本フリスビードッグ協会**

共催 **新潟市**

後援 **新潟市動物愛護協会 / 新潟市異業種交流研究会協同組合**

■ ペアの部 チャンピオン決定戦

予選1ラウンドを行い、決勝進出5チームを決定するという一発勝負のペアの部チャンピオン決定戦では、二人の息を最大限に生かしきらなければ決勝ラウンドへの道は険しいものとなります。

弱風コンディションながらも、やや向かい風が入った状況の中で、第1投目を担う女性プレイヤーのポイントが勝敗のカギを握る状況。しかしながら、その心配はお構いなしと、第1投目女性プレイヤーにグランドチャンピオンシップ出場者を投入してきた最強の2チームが本番にも強いその実力を発揮し、予選ワンツースでの決勝進出。

予選1位通過に菊地敦子・菊地浩樹&琥珀チームで49ポイント。第2位通過に永田明美・永田亨 & Mike Reinbach (ボーダーコリー) チーム。

決勝ラウンドでも、この2チームの揺らぎはないだろうと思われましたが、永田明美選手の第1投目にまさかのファー



ル。このあとにも不運は続き失速。優勝を手にしたのは、菊地敦子・菊地浩樹&琥珀チームとなりました。

■ JAPAN FINAL 2013 記念大会

2013年度記念大会は、レディースやスモールドッグのチームも対等に戦えるように、本年度初めて開催された殿堂犬フェスティバルにおけるニューゲーム「ワンラウンドマッチゲーム」で採用されたハンディキャップ制を更に秒数を増やし、レディース70秒/スモールドッグ75秒のオープンコートによる戦いとなりました。

エントリーされたチームは総勢74チーム。全チーム2ラウンド制ながらも、この中から決勝ラウンドへ進めるチーム



は僅かに3チームと狭き門。強者揃いの通常のオープンクラスは60秒の中で、いかにハンデを有効に使えるチームが出てくるかというところも見どころです。

天候は晴天/弱風という最高のコンディションの中での第1ラウンドでしたが、30ポイントを超えるチームは僅かに10チームという状況。

多くの20ポイント代後半のチームにとっては、第2ラウンド勝負というところでしたが、公式コートではなくオープンコート使用ということもあってか、第1ラウンド高ポイントのチームは順調にポイントを伸ばし、2ラウンド共に34ポイントで揃えた三本欽麗 & PallasAthena (ボーダーコリー) チームが予選1位通過で決勝進出。そして残り2枠には女性プレイヤーが名を連ねました。

予選2位通過には、3年連続グランドチャンピオンシップ出場を決めた菊地敦子 & 珊瑚 (ボーダーコリー) チーム。予選3位通過には、第2位通過とは同ポイント。レディースチャンピオンシップ出場の強者、柏木真理子 & CLIFFORD (ボーダーコリー) チームが決勝進出。

しかしながら、決勝ラウンドでも男の意地を見せた三本欽麗 & PallasAthenaチームが、このラウンドでも34ポイントで締めくり、トータル102ポイントで優勝を飾りました。

特別協賛 ● コニカミノルタNC株式会社 / ホテルイタリア軒 / サッポロビール株式会社 / 三国コカ・コーラボトリング株式会社 / 株式会社 小川割京大助 / 株式会社 叶味屋 / 新潟ふるさと村 / フェイズ株式会社 / デビペット株式会社 / 麒麟山酒造株式会社 / 株式会社サテライト中越株式会社 / アースウィング / NEEDSBOX / ビークパフォーマンス / ニューハレ / 有限会社 谷尾興産 / グリーン産業株式会社

協 賛 ニッケペットケア株式会社 / ネスレ日本株式会社 / ネスレ ピュリナ ペットケア / 株式会社ティー・クリエーション / ブラックウッドジャパンコーポレーション / 有限会社 神戸工房



▲ 篠田 昭 新潟市長



▲ 青木 太一郎 県議会議員



▲ 細野 弘康 市議会議員



▲ 新潟市 保健衛生部
部長 佐藤隆司 様



▲ コニカミノルタNC(株)
代表取締役社長 馬場伸行様



▲ (株)ティー・クリエーション
菅原様



▲ (株)谷尾興産 小谷様

■ グランドチャンピオンシップセミファイナル

本年度、20回目のジャパンファイナルということで、ノミネートシステムのレギュレーションを一新し、ジャパンファイナルノミネート枠90チームへと拡大するとともに、グランドチャンピオンシップ前日にセミファイナルを設け、翌日のグランドチャンピオンシップ出場枠20チームを勝ち取って頂きます。

このシステムは、年間のトップ50位にランクインしたチームはセミファイナル任意出場となり、グランドチャンピオンシップへのシード権を持ちます。51位～90位+会長特別枠の42チームが、20チームのグランドチャンピオンシップ出場枠の争奪戦を行っていただくというもの。

決勝ラウンドはなく、2ラウンド制の勝負。約半数が勝ち組となるわけですが、第2シードといえども全国の強豪がひ

しめく中でのラウンドには、緊張感と緊迫感が広がります。

第1ラウンドに30ポイント以上を持ってくるチームが優位となる予測が立てられる中で、15チームがそのポイントをクリア。しかしながら、第2ラウンドも手は緩めることは許されません。

結果、グランドチャンピオンシップへの切符を手に出れたのは、2ラウンド合計ポイント55ポイントという、ベスト20という数ながらもかなりの高ポイントを必要とする高い壁となりました。

ここで勝ち上がったチームが、翌日のグランドチャンピオンシップに波乱を起こそうとはこの時点ではここで知るよしもありませんでした。

■ レディースチャンピオンシップ

熱き女性の戦い。女性プレイヤー率いるチームが日本一を争うレディースチャンピオンシップ。全国からベスト60位にランクインした女性最強プレイヤーの戦いです。

天候は、雨時々曇りとディスクに重い空気を影響させるのではないかというコンディション。コイントスによる第1ラウンドは弱風ながらも向かい風。長い1ラウンド中には、その強さも様々に変化します。

第1ラウンドの状況は、やはりその天候の影響を受けてか、ポイントは伸びずに30ポイントを超えるチームも僅かに2チーム。強力なスローイングを誇る石渡由美子選手が、Yukky（ボーダーコリー）とのチームで第1ラウンド最高の38ポイント。さらに、Dione（ボーダーコリー）とのチームで32ポイントマークしました。

第2ラウンドはやや斜めからの追い風、巻き返しの期待できるチームが多数いるであろうという状況の中、30ポイントをオーバーするポイントを出してきたのが6チーム。

その中で、年間レディースチャンピオンの松尾直美 & AERA（ボーダーコリー）チームは、第1ラウンド24ポイントと苦しみました。第2ラウンド34ポイントをたたき出し6位で決勝進出。

石渡由美子選手は、Dioneとのチームで予選トップで決勝進出。さらに、Yukkyとのチームでは、第2ラウンドやや失速しながらも4位で決勝進出となりました。

予選2位通過には、残念ながら本戦にはヒートのために出場できなかった佐藤真理子 & 藍（ボーダーコリー）チームが、

プレッシャーのかかる特設コートで意地を見せての勝ちあがり。

予選3位通過には、第2ラウンド36ポイントで追い上げを見せた高木のどか & ロビン（ボーダーコリー）チーム。第5位通過には磯部輝代 & 富士（ボーダーコリー）チーム。予選7位通過に平岡喜代 & 卑弥呼（ミックス）チーム。決勝ラウンドは7チームでの日本一争奪戦となりました。

決勝ラウンドでは、予選2位通過の佐藤真理子 & 藍チームが32ポイントを出してプレッシャーをかけるも、予選2ラウンドともに安定して高ポイントをマークし、決勝ラウンドでは、3ラウンド30ポイントオーバーでベストプレーを見せた石渡由美子 & Dioneチームがレディースチャンピオンシップ、女王の座を勝ち取りました。



● 2013年度表彰式典 & ウェルカムパーティー

長年に渡るジャパンファイナル連続出場をされたチームや、本年度の活躍したチームを表彰する「2013年度表彰式典」。そして、式典の後には、第20回を記念しての「ウェルカムパーティー」が開かれました。

表彰式典において、一段と輝いていたのは11年連続グランドチャンピオンシップ出場という偉業を達成した、松尾至 & NOVA（ボーダーコリー）チームでした。「まだもう一年目指せるのでは？」と思わせる現役殿堂犬のグランドチャンピオンシップでの走りは一段と会場を湧かせました。

そして、本年度の MIP 賞（Most Improved Player）には、木田和夏 & Little Navajo（ボーダーコリー）チームが受賞。新人賞には、五十嵐拓也 & Barca（ボーダーコリー）チーム。五島保 & Jacky（ボーダーコリー）チーム。深見秀隆 & Cuore チーム。以上3チームが受賞されました。

式典の後のウェルカムパーティーにも、たくさんのご出席を頂き、手ぶらでは返しません！のビンゴゲームや、大会参加に大変お得なクーポン券をご購入された方への、新潟特産品が当たるくじ引きが行われ、大変賑やかなパーティーとなりました。

■ フリーフライトチャンピオンシップ

フリスビードッグの華であるフリーフライト。本年度も東北から九州までのチームがフリーフライトチャンピオンシップのジャパンファイナルノミネートを受け、日本一の座をかけて、そのチームワークの良さと妙技を競いました。

若手チームのノミネートあり、新風を吹かせる場面もみられました。また、フリーフライトチャンピオンシップ10年連続という偉業を達成した田淵義博&SOPHIA（ボーダーコリー）チームの成熟した妙技も見られました。

ファーストステージ規定演技のポイントで、100ポイントを超えての高いレベルの争いを見せたのは、2012年度フリーフライトチャンピオン澤幹子&AILA（ボーダーコリー）チームが109.3ポイントでトップ。次いで川又奈緒美&らびゅ（ボーダーコリー）チームが105.5ポイント。そして間美加&Digital（ボーダーコリー）チームが103.8ポイント。

ここまで年間ランキングの順位そのままという結果となりました。このポイント差ではほぼ団子状態であり、セカンドステージの演技次第でそっくり順位が入れ替わる可能性は大きいという状況。

セカンドステージ自由演技においても、この3チームにおいては大きなポイント差はないであろうと思われましたが、間美加&Digitalチームが順当に演技をこなすもファイナルポ

ジションでのミスが発生。澤幹子&AILAチームは前半のミスがあり、後半にポイントの高い大技をしかけるも、リーピング（飛び跳ねの審査）にポイントが付かずに加点が伸びませんでした。

結果、ファーストステージもセカンドステージにおいても大きなミスを見せずに安定した素晴らしい演技で締めくくった、川又奈緒美&らびゅチームがフリーフライトチャンピオンシップ日本一に輝きました。



■ スモールドッグチャンピオンシップ

スモールドッグ日本一を決める大会3日目の朝は、あいにくの雨模様。グランドコンディションや風に一番影響を受けやすいスモールドッグの精鋭たちにとっては、一筋縄ではいかないコンディションとなりました。

追い風状況の中での第1ラウンド、藤田浩子&マイロ(ジャック



クラッセル)チーム、榎裕博昭&銀次郎(ミックス)チーム、三ヶ田達也&キャッチャー(ジャックラッセル)チームが24ポイントの最高ポイントで折り返します。

第2ラウンド、向かい風がほしいチームが多い中で、無常にも風向き転じて追い風が、各チームに試練を与えます。

ノミネート38チームの内、追い風を制すものが2013年度スモールドッグチャンピオンシップに輝くという状況下、第1・第2ラウンド共に安定してポイントを獲得した、藤田浩子&マイロチームが予選トップ通過。次いで4ポイント差、後方から前年度スモールドッグチャンピオン土田雅志&栗の介(ウェルシュコーギー)チーム。決勝ラウンドへその勝負はもつれ込むことになります。

決勝ラウンドでは爆発力のある榎裕博昭&銀次郎(ミックス)、抜群の安定感を誇る植田昌広&VICKE（ボーダーコリー）が追い上げるも結果、その俊足を生かし唯一5投をパーフェクト。ポイントも27ポイントとハイスコアで締めくくった土田雅志&栗の介チームが2年連続通算3度目のスモールドッグチャンピオンの座に輝きました。



■ グランドチャンピオンシップ

日本のフリスビードッグ発祥の地「新潟」で開催された第20回フリスビードッグ日本一決定戦「ジャパンファイナル2013」。その最高峰である「グランドチャンピオンシップ」は、大会最終日11月4日に開催されました。

荣誉ある第20代チャンピオン、そして、新潟市長杯の栄冠かけて、熱戦の火ぶたが切られました。

この日は前夜から降り続く生憎の雨。グランドチャンピオンシップ出場の選手に牙をむくコンディションとなりました。

しかしながら、風は弱風という状況の中での第1ラウンド。第1シードの1~50位ノミネートチームへ宣戦布告の狼煙を上げたのは、セミファイナルからの勝ちあがりチームでした。

トップ山口朋孝&龍馬（ボーダーコリー）チームの35ポイントを皮切りに、二番手の荻野隆行&蓮（ボーダーコリー）チームは38ポイントと、セミファイナル勝ちあがり20チーム中11チームが30ポイント代をマークし、後続の第1シードのチームへプレッシャーをかけました。

しかし、このプレッシャーを跳ね除けるのがグランドチャンピオンシップ出場の強者達。第1ラウンドは、結果的に高ポイント争いとなり、このままで行くと、これまでのグランドチャンピオンシップ決勝ボーダー最高の74ポイントを超えるのではと予測されました。

そして迎えた第2ラウンド。開始時の風は向かい風。この風がセミファイナル勝ち上がり組を悩ませる結果となり、追加ポイントが思うように伸びない状況が続きます。

しかし20チームを終了しようとする時、風向きは一転、追い風のコンディションに変わりました。

この状況で快進撃を見せたのが、第1ラウンド30ポイントオーバーを叩き出していた島本圭悟&Lark（ボーダーコリー）チーム、木田和夏&Little Navajo（ボーダーコリー）チーム。共に40ポイントをマークし、トータル70ポイントを超えて決勝進出をほぼ決めました。

予選トップは、第1ラウンド第2集団につけていた須貝ひとみ&Lien（ボーダーコリー）チーム。第2ラウンド39ポイントを獲得し、トータル77ポイントで決勝進出。これまで準優勝に泣いていた須貝ひとみ&Lienチーム、日本一の念願叶うか！と、決勝ラウンドのプレーに注目が集まります。

決勝ラウンドは、午前中を中心として降っていた雨も上がり、やや強い風が時折吹きながらも、追い風のハイスコアで争われそうな状況の中始まりました。



決勝2番手で登場の杉本繁郎&Pilica Kamuy（ボーダーコリー）チームが32ポイントを出し、まずはトータル100ポイントの大会に乗せてきました。

第6位通過、第7位通過とミスをはさみ苦戦したチームの後に、第2ラウンド40ポイントを出した中の1チームでもある加藤智一&DOKINちゃん（ボーダーコリー）チームが34ポイントを上乗せ。ここからベストスリーを迎えようというところで、108ポイントで暫定トップをキープ。

この後、予選第3位の北川安洋&シルフィー（ボーダーコリー）チームは最終スローで痛恨のミス。32ポイントを獲得したものの、トータル107ポイントと1ポイント及ばず。

そして予選第2位、10ポイントキングの島本圭悟&Larkチームが、ワンミスを入れるも10ポイント2本を入れ36ポイント加算。トータル112ポイントでトップポイントを塗り替えて、須貝ひとみ&Lienチームの結果を待ちます。

須貝ひとみ&Lienチームの予選ポイントとのビハインドは35ポイントと決して楽なポイント差ではない場面。

2009年から始まった須貝ひとみ&Lienチームの日本一への道は、決して平坦なものではありませんでした。

過去2度の決勝進出、2度の準優勝という無念の涙を見せてきたこのチームの決勝ラウンドに注目が集まります。

まわりの観戦者も応援団も、まばたき禁止の60秒の始まり。ロング4本決まったところで、勝敗は最終スローまでもつれ込みます。

「この1投で日本一が決まる！」というプレッシャー中で放たれたスローは、文句なし、真ん中のウィニングショットとなり、ここ数年、優勝候補と言われ続けてきた須貝ひとみ&Lienチームが悲願達成、頂点に輝きました！



大会結果

決勝進出 及び 入賞者一覧

グランドチャンピオンシップ
決勝ラウンド進出チーム

	氏名	犬名	出身地	犬種	ポイント
1	須貝ひとみ	Lien	岐阜県	ボーダーコリー	115
2	島本 圭悟	Lark	徳島県	ボーダーコリー	112
3	加藤 智一	DOKINちゃん	宮城県	ボーダーコリー	108
4	北川 安洋	シルフィー	奈良県	ボーダーコリー	107
5	杉本 繁郎	Pilica Kamuy	北海道	ボーダーコリー	100
6	深谷 浩之	TIGA	岐阜県	ウィペット	98
7	荻野 隆行	蓮	大阪府	ボーダーコリー	97
8	木田 和夏	Little Navajo	大阪府	ボーダーコリー	96

フリーフライトチャンピオンシップ
入賞チーム

	氏名	犬名	出身地	犬種	ポイント
1	川又奈緒美	らびゅ	東京都	ボーダーコリー	231.6
2	澤 幹子	AILA	大阪府	ボーダーコリー	224.2
3	間 美加	Digital	福岡県	ボーダーコリー	213.2

レディースチャンピオンシップ
決勝ラウンド進出チーム

	氏名	犬名	出身地	犬種	ポイント
1	石渡由美子	Dione	神奈川県	ボーダーコリー	100
2	佐藤真理子	藍	岩手県	ボーダーコリー	92
3	高木のどか	ロビン	東京都	ボーダーコリー	90
4	松尾 直美	AERA	長崎県	ボーダーコリー	86
5	磯部 輝代	富士	東京都	ボーダーコリー	79
6	石渡由美子	Yukky	神奈川県	ボーダーコリー	78
7	平岡 喜代	卑弥呼	奈良県	ミックス	72

スモールドッグチャンピオンシップ
決勝ラウンド進出チーム

	氏名	犬名	出身地	犬種	ポイント
1	土田 雅志	栗の介	埼玉県	Wコーギー	67
2	藤田 浩子	マイロ	奈良県	ジャックラッセル	64
3	植田 昌広	VICKE	長野県	ボーダーコリー	62
4	榎裕 博昭	銀次郎	大阪府	ミックス	59
5	平岡 喜代	十夢	奈良県	ビーグル	50

ユースオープンチャンピオンシップ(個人の部)
決勝ラウンド進出チーム

	氏名	犬名	出身地	犬種	ポイント
1	深谷 浩之	天功	岐阜県	ウィペット	98
2	四方田 竜	SOL	福岡県	ボーダーコリー	93
3	中村 優斗	Charo	宮城県	ボーダーコリー	87

ユースオープンチャンピオンシップ(団体の部)
入賞チーム

	チーム	氏名	犬名	犬種	ポイント
1	岐阜県	深谷 浩之	天功	ウィペット	308
		深谷 浩之	小夜	ウィペット	
		深谷 里美	九十九	ウィペット	
		伊藤 嘉信	しおん	ボーダーコリー	
2	福岡県	吉武 竜司	mira	ボーダーコリー	297
		四方田 竜	SOL	ボーダーコリー	
		柴村 亮佑	CHARIS	ボーダーコリー	
		川嶋 久美	SWAN	ボーダーコリー	
3	埼玉県	石川喜久男	ライブ	ストロングアイ	295
		石川 恵子	リンク	ボーダーコリー	
		加藤 昌宏	Little X ジョア	Aシェパード	
		今井 照明	武蔵	Wシェパード	

シニアドッグの部 チャンピオン決定戦
決勝ラウンド進出チーム

	氏名	犬名	出身地	犬種	ポイント
1	深谷 浩之	TIGA	岐阜県	ウィペット	94
2	磯部 輝代	ガンジー	東京都	ボーダーコリー	80
3	後藤 公彦	雅楽	埼玉県	ボーダーコリー	76
4	中川 剛彦	凜子	広島県	ボーダーコリー	75
5	橋間 正信	J	東京都	ウィペット	67
6	東條 浩一	ライズ	三重県	ボーダーコリー	46

ペアの部 チャンピオン決定戦
決勝ラウンド進出チーム

	氏名	犬名	出身地	犬種	ポイント
1	菊地 敦子	琥珀	青森県	ボーダーコリー	91
	菊地 浩樹				
2	永田 明美	Mike Reinbach	宮城県	ボーダーコリー	72
	永田 亨				
3	川嶋 久美	SWAN	福岡県	ボーダーコリー	72
	吉武 竜司				
4	西澤 由美	Lovey	長野県	ボーダーコリー	70
	西澤 衛				
5	西澤 由美	Hearty	長野県	ボーダーコリー	64
	西澤 衛				



グランドチャンピオンシップ

須貝 ひとみ & Lien

ディスクを始めてあつという間に10年の歳月が流れ、今年9回目のFINALとなりました。

いつのFINALも大切な思い出ですが、振り返ったときにまず思い出されるのは、2年前の淡路島、2P足りず優勝を逃し(しかも2年連続)悔し涙を飲んだ事でしょうか。

あの時の悔しい思いが、今年のこの結果につながったのかな、と思います。

今シーズン序盤はなかなかモチベーションが上がらず、苦勞をしたところもありますが、夏前にフォーム修正をしてひたすら投げ込み、徐々にやる気と調子を取り戻してきました。

そして今年7歳を迎え、ますます元気いっばいのLienと共にお互いベストな状態で新潟入りする事が出来ました。



今回のFINALは、3度目の正直!という事と、7歳というLienの歳を考え、「今年何としてでも!」という気持ちで臨みました。

そんな思いが伝わったのか?かどうかは解りませんが(笑)Lienはいつにも増してすごい気迫!雨で足元が悪かったにもかかわらず戻り足のなんと速い事!

私はといえば、吐きたくなる程の緊張感と、泣きたくなる程の不安な気持ちの中で体はガチガチ。

それでもなんとか1・2Rを投げきり、後は決勝Rを残すのみとなりました。

決勝は10年間一緒に頑張ってきた家族…主人の思いや、タフィー、Lienとの思いをディスクに込めて、投げました。どんな結果になっても後悔はしないだろうと思えました。

ラストスローをLienがキャッチした瞬間は感極まってその場に崩れ込み、そして、嬉しそうに戻ってくるLienを一杯抱きしめ、泣きました。

後ろを振り返ると、目を真っ赤にした主人がいました。「やっと、Lienを日本一に出来たね、これは夫婦で勝ち取った優勝だよ、本当にありがとう!」

会場での皆さんの力強い応援にパワーをいただきました。本当にありがとうございました!

私は本当に幸せ物です。

もう一つ嬉しかった事…、人生初の胴上げ!

最高の気分でした!

でも最後、ディスク界の大御所?? 人生の大先輩??? である空野さんの頭上に強烈なかかと落としをお見舞いしてしまった事は、笑える…じゃ無い、忘れられないエピソードとなりました(笑)



2014シーズンは、ポチポチ参戦の我が家ですが、こんな感じで家族みんなで明るく楽しく末長〜く、Frisbee Dog Lifeを続けていけたら…と願っています。



フリーフライトチャンピオンシップ

川又奈緒美 & らびゅ

らびゅとチームを組んで5回目のファイナル。今年こそ、この大きな舞台上で自分達の本当の実力を発揮し、最高のパフォーマンスを魅せたい!!と、今までより強い思いで望みました。



実は昨年、三重津ファイナル直前に私の母と、らびゅのおばあちゃん犬ルナ、大切な二人に同時期に肺腫瘍が見つかるという悪夢のような現実が…。

こういう時こそ気持ちを強くもって望まなきゃ!! と思ながらも、精神力の弱さと風に翻弄され、0.4P差で4位に…。

その後、母の治療はうまくいったものの、ルナの病院通い、介護、仕事と時間におわれ、練習や大会どころじゃない状況。

しかし今年の3月にルナが虹の橋を渡ってしまい、悲しくてどこにも出る気になりませんでした。

そんな私を心配し、声をかけ励ましてくれる仲間達に後押しされ頑張らなきゃと大会へ。

ならば今年こそ優勝して母を喜ばせ仲間達に良い報告をしたいと、天国にいるルナと花ちゃんに力をもらい、ファイナルのステージへ。

今までにない最高の出来で1R終了、仲間達にヤッタ!!のピースサイン。

軽く緊張してしまった2Rでは、らびゅが私をカバーしてくれ、持ち前の素晴らしい能力で最高のパフォーマンスを魅せてくれました。

その結果、JFAファイナル戦での歴代最高ポイントをたたき出しての優勝!!

頑張ってくれたらびゅに一番でっかいトロフィーをあげられ、それもJFA20周年記念の年にだなんて本当に嬉しかったです。

これも共にエールを送り合い励ましあってきた、SAFARI、雷地、リージェイ、レオちゃんグリちゃん存在があり、



見守り応援してくれた仲間達があってこそその優勝でした。

愉快的な最高の仲間達、JFAスタッフの方々、一年間ありがとうございました。そして、これからもよろしくお祈りします。



レディースチャンピオンシップ

石渡 由美子 & Dione

今年も1年間、スタッフの皆様、参戦された皆様、お疲れ様でした。

ディオネと参戦して今年で二年目、ユッキーの妹だと思いき、向かえ入れたディオネ、ユッキーのようなキャッチセンスの良い子にと思ったのですが、同じ姉妹とは思えないほどのテンションの高さ、走る事、飛ぶ事が大好きなディオネ、正直なかなか 噛み合う事が出来ませんでした。

それでも、シーズン当初は5投入り、いい滑り出しでしたが、5月を過ぎたあたりから、受け渡しが悪くなり、キャッチしてからの戻りも遅く、4投しか入らなくなってしまいました。

私のスローもディオネに合ったスローをと思い、色々試していくなか、自分の本来のスローを見失い、自信を無くしていきました。プレーする事の喜び、ディスクを投げる楽しさをなくしていきました。スローや練習内容の事で、主人ともよく言い争ったりもしました。

それでも、シーズン終盤に差しかかる頃、受け渡しを変えた事で、少しずつ5投入りようになり、私自身もスローが復調していきました。

ファイナルでは正直、ディオネに合うスローしか投げられず、ユッキーには申し訳なかったと思いますが、ディオネがしっかりと私のスローに答えてくれ、自己ベスト100ポイントで終わることができました。

最後に応援して下さった皆様、刺激しあえる全国にいる仲間(ライバル)達、有難うございました。

そして、これからもよろしくお祈りします。



スモールドッグチャンピオンシップ

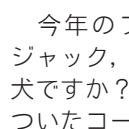
土田 雅志 & 栗の介

『ゲーム終了後どうやって捕まえるか』公式戦に参戦し始めたころの我がチームの課題でした。その後一年あまりにも渡って周囲にご迷惑をお掛けし続けた栗の介が、縁の深い新潟の地で『2年連続3度目のスモチャン!!』という栄誉をもたらしてくれました。

飼い主はもちろん、当時捕獲に参加して下さっていた皆様方の誰もが、あのやんちゃ坊主がこんなに立派に成長する姿は予想だにしてい



なかったと思います(小型犬の重鎮ま〇父さんは、その頃から「この仔は将来大物になるよ」と励ましの声を掛けて下さいました。氏の慧眼には改めて感服です)。



ユースオープンチャンピオンシップ(個人)

深谷 浩之 & 天功

シーズン後半、岐阜県は団体戦が不成立になるかもしれないという噂が耳に入りました。嫁が九十九とユースクラスに出ていましたので、団体戦が無くなると、楽しさが減るだろうということで、急遽、自分もユースに2チーム参加することにしました。

さてさて、追加参戦の決まったお嬢さんたち、ディスクの落ち際にホバーして、ちょっと流れるとキャッチ率の悪い「音無小夜」(さよ)。ディスクを手元まで持ってこない「プリンセス天功」(てんこう)。

日が暮れるのが早くなったので、多数の懐中電灯を使い、ナイターで特訓しました。

本番で頑張ってくれるかな? 団体戦の足を引っ張っちゃったらどうしよう? まあ、楽しけりゃいいか!! と割り切って、当日はコートに入りました。

小夜ちゃん、いつもより戻り足が遅く、ポイント稼げません!!! それをカバーするように、天功ちゃんががんばりました。

2Rを終え、岐阜県チームが決勝に残ったと喜んでいたら、個人戦として、その後に決勝があると聞きました。天功ちゃんは4R目を迎えることに…。4R目にディスクを持って帰ってきてくれるか? 走力は残っているのか?

天功ちゃん、ファイナルの時だけ、イリュージョン成功です。(その後の練習では、ディスクを手元まで持ってこないことも多々あります)

ユースは団体戦もあるため、地域メンバーとの交流も深くなるので楽しいですね。





ユースオープンチャンピオンシップ(個人)

四方田 竜 & SOL



昨年の11月に我が家に新しい家族が増えました。名前は、先代犬の太陽をラテン読みにして、SOLと名付けました。

そのSOLとユースオープン団体戦V2を目指して臨んだ初めてのジャパンファイナル、1Rは緊張の中39Pと最高の滑り出しとなったが、続いての2R、逆風の中2ミスの22Pと失速してしまっただが、個人戦2位通過、団体戦トップ通過とV2に向けて最高のポジショニングとなった。

迎えた団体決勝ラウンド、「最高のプレーをしよう!」と頭を軽く撫でコートは入り最高の緊張感と集中の中8.10.10.8.と決ったが、ラストで痛恨のミス、結果団体戦は準優勝と終えてしまった。

次いで個人戦の決勝ラウンド、団体戦に続き2度目の決勝だったのでリラックスして臨めたのだが、またしてもラストでミス、結果個人戦も準優勝となってしまった。

SOLとの初めてのジャパンファイナルは、楽しくもあり、悔しくもあったが、今回の経験は我がチームにとってすごく大きな財産になりました。この経験を活かし来シーズンは、グランドチャンピオンシップ出場を目標に更なるステップアップをしていきたいです。

最後に今回団体戦と一緒に戦った福岡代表の川嶋さん、柴村君、吉武君と一緒に戦ってくれてありがとう。そして我が家の第二の太陽、SOL、これからも人に喜びと感動をあたえるプレーを目指してフリスビーライフをenjoyしようね。



ユースオープンチャンピオンシップ(個人)

中村 優斗 & Charo

僕はジャパンファイナルで3位になれるとは夢にも思いませんでした。

僕は来年、中学3年生という受験生になってしまうので、今年で決めないといけないというプレッシャーもありつつ、ファイナルにのぞみました。ファイナルでは、1ラウンド目が始まるまでは、「去年個人戦で4位だったから今日は1位になってやる。」という気持ちでいました。しかし、その気持ちも1ラウンド目では2度もミスをしてしまい、試合が終わってから風の前のちりのように吹き飛ばされてしまいました。



30点台にいかなければ決勝は無いと思いましたが、あきらめたらそこで試合終了だと思い、2ラウンドにのぞみました。しかし、2ラウンド

でも1投ミスをしてしまい、「もう今年は決勝なんていけるわけがない。」とっていました。

しかし、ユースオープンの全部の試合が終わったとき、アナウンスで決勝進出者の発表がされました。1位、2位と呼ばれていく中で「4位、中村優斗&Charo」と呼ばれたときは、とてもうれしかったです。あきらめないことは大切ということを改めて実感しました。そして、決勝ラウンド選手呼び出しが終わったあと、いよいよ5位の人から順番に呼ばれていきました。僕は4位で通過したのですがよばれました。そして、決勝ラウンドでは、1投ミスをしてしまいましたが3位になれました。

ここまでこれたのは、変なスローでもとってくれたチャロをはじめとするいろいろな方々のおかげです。今まで本当にありがとうございました。そして、これからも日々精進してまいりますので、何卒よろしくおねがいいたします。



ユースオープンチャンピオンシップ(団体)

チーム岐阜

今年の岐阜チームは偶然にも地元のディスクドッグクラブ・CDDCのメンバーで構成されました。

ランキングNO.1の小夜をはじめ、天功、九十九、しおん。みんな実力のある犬ばかり。あとは投げ手がいつも通りの力を出せば決勝に行けるかも、とっていました。

ですが、1・2R終了後の手ごたえは微妙…。なので予選通過2位のコールを聞いたときは飛び上るほど嬉しかったです。

そしてむかえた決勝。ここではみんないつも通りの力を発揮し、見事優勝を勝ちとることができました。



優勝旗に「岐阜県」の名前を残すことができ、とても嬉しく思っています。

最後に、応援してくださったCDDCの仲間たち、本当にありがとうございました。

ユースオープン
岐阜チーム

深谷浩之 & 小夜
深谷浩之 & 天功
深谷里美 & 九十九
伊藤嘉信 & しおん



シニアドッグの部

深谷 浩之 & TIGA

TIGAも、もう10歳になりました。

8月に左上腕三頭筋肉離れを起こしてしまい、しばらく安静にしていたので、ファイナルに向けての走り込みが必要になりました。日常のトレーニングだけでは間に合いそうになかったため、後半の大会時は、シニア大会も含め走り込むことにしました。再び怪我をしてしまうリスクを避けるため、しっかりケアをしながら、ファイナルに臨みました。

1R、第1投目、フラットで高めのストレート軌道で投げ込んだのですが、逆光のためか？ディスクを見失い、ノーキャッチ。2投目からは立て直してくれて、残り4投は全キャッチ。2R、決勝と大きなミスなく、怪我なく無事に終ることができました。

パートナーのケアをしっかりすれば、10才になっても競技を戦うと言うレベルで遊べるということが証明できたと思いま



す。来年は、シニア連覇+グラチャンも狙って、しっかりケアしながら遊びに行きたいと思っております。



ペアの部

菊池敦子・浩樹 & 琥珀

「琥珀も、もう8歳だね」「いつまで走れるかなあ？」の会話から始まり、「日本一の冠を獲りたい」と思いが生まれ…、それがペア大会へのドタバタの始まりでした。

ご存じのとおり、敦子&琥珀は2011レディチャンペア。浩樹&琥珀は、お笑いペア。

当然、ゲームでは、「あっちゃんに任せろ。きくりん、無理するな。足、出すなよ。刺すなよ」のヤンヤの大合唱。おかげで、レギュラーシーズンは楽しくプレーでき、ファイナルへ…。

実はファイナルのペアの部出場は2度目。初は珊瑚と富士吉田で。このときの浩樹、フットフォルト&全投ミスの0P。敦子は3投で28P…。

当然、その事は頭をよぎるわけで。それでも、皆さんのヤンヤの応援で気分が落ち着つき、集中できました。

ゲームは敦子の鬼嫁スローから始まり、浩樹も一年に1度あるかないか？のナイススローで順調なゲーム展開。レギュラーシーズンでは6投勝負。でも、7投は必須と考えていたので、ショートが必要。ショート練は刺しまくっても、ゲームで実践。成功確率なんと、10%以下…。

でも『ショート』を敢行。

琥珀が必死に食らいつき成功。最終7投目、敦子に繋げる。しかし、鬼嫁とて人の子。力んで揚げてのギロチンスロー。でも、琥珀がスーパーキャッチ。

ポイント『49』。2人と1匹が一体になった瞬間。

トップ通過の決勝ラウンド。トップとのビハインドは23P。緊張するかなあ？と思ったけど、敦子と琥珀の土壇場力に任せていた浩樹は緊張せずに済み…。レギュラーシーズン同様の6投勝負。

結果、ロング3・ミドル3の『41ポイント』。一気に嬉しさと、達成感が押し寄せる。『琥珀のドヤ顔と、やったわよの笑顔』最高の一瞬・最高の感動でした。

シーズン中、いつも応援していただいた皆様には本当に感謝しています。ありがとうございます。





フリスビードッグ
初心者クラスチャンピオン決定戦

CHALLENGE CUP 2013

- 2013.11.10(SUN) 兵庫但馬
- 2013.11.18(SUN) 茨城つくば

ジャパンファイナル2013終了後、フリスビードッグ2013年度の締めくくりとして、今年度の初心者クラス各競技のチャンピオンを決める『チャレンジカップ2013』が、兵庫但馬・茨城つくばで開催され、今年度の、西日本・東日本チャンピオンが決定しました。

初心者クラスとはいえ、さすが、各大会での入賞を勝ち取ってきたチームたち。どのチームも熱のこもったプレーを展開し、笑顔あり・涙ありのドラマが数多く展開されました。

何より印象的だったのは、各チームの笑顔、そして、犬たちのきらきらと輝く瞳に、フリスビードッグの、そして、ドッグスポーツの原点を見せつけられた大会でした。

兵庫但馬 2013.11.10(SUN)

11月10日(日)、あいにくの雨模様のスタートとなったチャレンジカップ西日本チャンピオン決定戦。しかしながら、ノミネート選手入場から開会式までは、雨雲の間から青い空が見られるほど好転し、この日ノミネートされたチームを歓迎するようでした。

開会式が終了すると、天候は一転して雨模様。時折、雨脚も強くなり風も強風が吹く時間帯もありました。

そのような状況の中、風に比較的左右されないレトリークラスやトライアルボールドッグクラスでは、チャンピオン決定戦にノミネートされたチームということもあり、高ポイントの争いも見られました。

レトリークラス西日本チャンピオン決定戦では、既に上位クラスにもチャレンジ中の荻野明美& GISELE(ボーダーコリー)チームが西日本チャンピオンの栄冠を獲得。



そしてトライアルボールドッグゲームにおいては、オープンクラス並びに小型スタンダードクラスの2冠を制した辺見浩司&ノアール(トイプードル)チーム。スーパーミニクラスでは、杉岡彰子&アークー(パピヨ

茨城つくば 2013.11.18(SUN)

11月17日(日)晴天に恵まれほぼ無風状態で始まったチャレンジカップ。



ノミネート選手は天候同様、晴れ晴れとした表情で入場。熱戦がスタートしました!

トライアルボールドッグゲームチャンピオン決定戦は各部門1チームの戦いでしたが、

日頃の練習の成果を存分に発揮、全チーム結果を残しました。

小型犬の部では高城幸紀&クッキー(柴犬)チームが接戦を制し優勝! 2位3位も決定戦になるほどの激戦となりました。

キッズクラスはそれをも勝る大混戦。制したのは増田雄太郎&虎二郎(Aシェパード)チーム。大野兄弟は決勝を終



兵庫但馬 入賞チーム

	氏名	犬名	出身地	犬種	ポイント
--	----	----	-----	----	------

●キッズクラス

1	宮本 駿介	こたろう	兵庫県	ボーダーコリー	57
2	宮本 陽菜	こたろう	兵庫県	ボーダーコリー	22

●チャレンジクラス

1	宮迫 裕二	BROOKS	京都府	ボーダーコリー	79
2	荻野 隆行	仁	大阪府	ボーダーコリー	74
3	山川 展弘	サラ	兵庫県	Gシェパード	72

●小型犬クラス

1	中川ゆかり	レイ	滋賀県	シェルティ	34
2	溝渕 千鶴	ゆず	兵庫県	ジャックラッセル	29
3	溝渕 昌宏	ゆず	兵庫県	ジャックラッセル	24

●レトリークラス

1	荻野 明美	GISELE	大阪府	ボーダーコリー	120
2	石川 理絵	Mia	大阪府	ボーダーコリー	118
3	中川ゆかり	アレス	滋賀県	シェルティ	85

●トライアルボール OPクラス

1	辺見 浩司	ノアール	兵庫県	Tプードル	103
2	石川 理絵	LEON	大阪府	ボーダーコリー	85
3	松尾 絵里	EVE	大阪府	Aシェパード	64

●トライアルボール SDクラス

1	辺見 浩司	ノアール	兵庫県	Tプードル	101
2	山川由美子	のあん	兵庫県	シェルティ	83
3	島村 葉子	プリン	京都府	Mプードル	79

●トライアルボール SSクラス

1	杉岡 彰子	アークー	兵庫県	パピヨン	45
2	溝渕 千鶴	アトム	兵庫県	ジャックラッセル	25

ン) チームが西日本チャンピオンの座に輝きました。

チャレンジクラスでは風を制すチームが上位に立つ、投げ手の腕の見せ所という予選ラウンドとなりました。



結果、西日本チャンピオンには宮迫裕二 & BROOKS (ボーダーコリー) チーム。風の影響が受けやすい小型犬クラスにおいては、ポイントの取りづらい状況の中で健闘したチームが決勝に進出、そして優勝を手にしたのは、中川ゆかり & レイ (シェルティ) チーム。

キッズクラスの子もたちも、悪天候ながらも健闘を見せ、宮本駿介 & こたろう (ボーダーコリー) チームが西日本一に決定。

決してコンディションがいい状況ではありませんでしたが、みなさん雨や風にも負けずに楽しく、そして一生懸命頑張るチームの印象が強く残るチャンピオン決定戦となりました。

え同ポイントで並び決定戦へ。結果、兄の成也君が弟の優陽君を上回りましたが、大人顔負けの熱戦に大きな拍手が送られました。

レトリークラスは軒並み100ポイントを越えるチームが続出。決勝進出チーム5チーム中4チームが100ポイントを越える戦いとなりましたが、最後は1ポイントかわし小山隆 & REBECCA (グローネンダール) チームが制しました。

チャレンジクラスも見ごたえのある、最後まで目の離せない展開となりましたが齋藤健太郎 & Kailua-Kona (ボーダーコリー) が2P差で小峰泉 & みぞれ (ボーダーコリー) をおさえ見事優勝を果たしました。

近い将来この中から必ずや公式戦で活躍するチームが現れる、そんな確信を持てることができたような熱い戦いを繰りひろげてくれました。



茨城つくば 入賞チーム

	氏名	犬名	出身地	犬種	ポイント
--	----	----	-----	----	------

●キッズクラス

1	増田雄太郎	虎二郎	東京都	Aシェパード	89
2	大野 成也	アイル	宮城県	ボーダーコリー	86
3	大野 優陽	アイル	宮城県	ボーダーコリー	86

●チャレンジクラス

1	齋藤健太郎	Kaikua-Kona	栃木県	ボーダーコリー	110
2	小峰 泉	みぞれ	埼玉県	ボーダーコリー	108
3	今井 照明	鬼平	埼玉県	Wシェパード	100

●小型犬クラス

1	高城 幸紀	クッキー	神奈川県	柴犬	23
2	安達 朋宏	りき	愛知県	Wコーギー	18
3	今野 和晃	パッパ	宮城県	Mプードル	18

●レトリークラス

1	小山 隆	REBECCA	東京都	グローネンダール	114
2	水野由紀子	太陽	東京都	ボーダーコリー	113
3	栗原 孝子	れん	東京都	ラブラドル	105

●トライアルボール OPクラス

1	川上 優子	ゆず	山形県	柴犬	3
---	-------	----	-----	----	---

●トライアルボール SDクラス

1	川上 暢明	ゆず	山形県	柴犬	7
---	-------	----	-----	----	---

●トライアルボール SSクラス

1	平岡 啓子	のあ	東京都	トイプードル	54
---	-------	----	-----	--------	----



キッズクラス

兵庫但馬

宮本 駿介 & こたろう

ばくは、今年からフリスビーを始めました。最初は、全然うまく投げれなくて場外にだすことも多かったけど、こたろうが少しずつとってくれるようになって、とてもおもしろくなってきました。

それと、大会に出たときに周りの大人の人、「上手だね〜」とか「がんばれ〜」とかいろいろ声をかけてくれるのもとてもうれいす。

これからももっと投げ練をしてこたろうが、とりやすいフリスビーが投げれるようにしていきたいです。

来シーズンもがんばります。よろしくお願ひします。

お父さんと陽菜には、まけないぞぉ〜!!



キッズクラス

兵庫但馬

宮本 陽菜 & こたろう

わたしは、今年の秋からフリスビードッグをはじめました。わたしは、フリスビーをなげてみてこたろうにフリスビーをかっこよくとらせたくてしてみました。

こたろうがわたしのなげたフリスビーを楽しそうに走って

おいかけているすがたをみて、わたしも楽しくなりもっとうまくなげてみたいと思いました。

大会では、とてもきんちょうするので、なかなかうまくなげれないことが多いです。

けどお父さんが、小学生のうちにレディースにでれるようがんばれといってくれたので、もっと練習しなくちゃと思います。

来シーズンは、兄に負けないようがんばります。(もっと子どものさんかがふえるといいな!! 家にいるオーシーともでたいな!!)



チャレンジクラス

兵庫但馬

宮迫 裕二 & BROOKS

飼い主の年齢・体力を考えれば、IVY・TRAD・RALPHと続いたフリ犬生活も我が家にとって最後になるであろう「BROOKS」を家に迎えて、早10ヶ月が過ぎました。

6年振りに子犬を迎えて、思い出しながら手元の練習ばかりの3ヶ月を過ぎてから、少しずつキャッチの練習を始めました。やはり、血は争えず祖父母・両親から受け継いだ「運動能力・集中力」は素晴らしく、あとは月日と共に落ち着きが出てくればと願いつつ、今秋から場慣れのためにも大会参加をしてきました。

今回のCHALLENGE CUPも来シーズンに向け、また、兄妹犬との再会・再戦を楽しみに参加しました。

1 R: 5 投中 2 キャッチ 18p 「おーい、どうした? あれ〜?」
2 R: 5 投中 3 キャッチ 25p 「おーい、どこ見てんの? がっかり!」
43p で 4 位で決勝進出 「ラッキーだったね!」

決勝: 4 投中 4 キャッチ 36p 「よ〜く見ていたね! 頑張ったね!!」
雨降るなか、79p で運良く「優勝」することが出来ました。

若くて経験不足の姿を見せつつも、家の中と違って生き生きとした大会会場での姿に、笑いと感動と落胆... 様々な思いを与えてくれる「BROOKS」を筆頭に「IVY・TRAD・RALPH」との大会参加を、老化防止の刺激剤として、来る2014のシーズンも怪我をしないように楽しめたらと思う今日この頃です。



あとになりましたが、大会会場でお世話になりました。叱咤・失笑いただいた方々にお礼申し上げます。参戦記とします。



チャレンジクラス

兵庫但馬

荻野 隆行 & 仁

初めて参戦したチャレンジカップ。

そのきっかけは、去年9月に生まれた蓮ちゃんの子供たち。一年間の成長を楽しもうと、仁とGISELEでチャレンジクラスに参戦しました。そして、なんとか、仁でギリギリ決勝に進むことが出来ました。

決勝では4投キャッチと頑張ってくれたおかげで、2位をいただくことが出来ました。

優勝は、BROOKS。兄弟でワンツーフィニッシュすることが出来て嬉しい限りです。

来シーズンは、仁・GISELEで公式戦に参戦しますので、大会の皆様、JFAのスタッフの皆様、どうぞ宜しくお願いいたします。



CHALLENGE



チャレンジクラス

兵庫但馬

山川 展弘 & サラ

フリスビーとの出会いは、昨年5月に三木市で行われたフリスビー大会でした。そこで、生まれて初めてワンコが飛んでいるフリスビーをキャッチしているのを見て、とても感動しました。自分もやってみたくて思いました。

それからは、たくさんの方からアドバイスを頂きながら投げていましたが、大会に出場すれば何度もコート外に投げ込んだりと散々な有様でした。

それでもサラは必死に必死に頑張ってくれました。練習では、最初は自分なりに投げ練習をしていましたが、なかなか上手く投げれず、一方、サラはとても上手くキャッチしてくれました。練習を重ねる中、徐々にですが、サラと息が合うようになってきました。

そんな中、フリスビーと出会って丁度、1年が経とうとした今年の5月三木市での殿堂犬フェスタにおいて、初優勝する事が出来ました。ラウンド中、サラは必死にフリスビーを追いかけてくれました。

その時、一番印象に残ったのは、自分が低く投げたしまったフリスビーをキャッチしようと低い姿勢で走り抜け地面スレスレでキャッチしてくれました。

あのキャッチがなければ、初優勝は出来なかったと思います。あの時の感動は言葉にできないぐらい感動し、この先、忘れる事は無いでしょう。

そして、2013年最終戦チャレンジカップに出場する事になり、当日は、早朝から時折激しい雨となり決していいコンディションではありませんでした。

でも、出場したからには何か結果を残そうと思い、自分なりに言い聞かせました。サラは必ず、自分に応えてくれると信じていたので、後は自分自身だと思っていました。

1、2ラウンドとも、自分がフリスビーを投げて失敗した以外は、全てキャッチしてくれたので決勝戦に出ることが出来ました。

決勝ラウンドも自分の失敗以外は、全てキャッチしてくれて、今回見事、3位に入賞することが出来ました。

これも、自分だけの力では決して入賞することは出来ません。応援していただいた皆さん、そして何よりもサラが一番、活躍してくれました。

これからも、ドッグスポーツを続けていく上で、2013年は忘れる事の無いシーズンとなりました。最後に、サラには「感謝、感謝」の気持ちで一杯です。そして、「ありがとう」。



小型犬クラス

兵庫但馬

中川 ゆかり & レイ

当日は1週間前からの雨予報が外れることもなく、噂に聞いていた水没する会場を体験することとなりました。しかも朝には、車が揺れるような突風が吹いたりもして、私がエントリーした但馬会場のチャレンジカップでは、初めての荒れた天気を味わいました。

今年でレイも10歳を迎えました。ひょんなことから3歳からディスクをはじめ、気がつくとも7年間も経ち、不思議と飽きることなく競技会を続けることができました。

シニア期に入ってからは、いつも今年で引退になるのかという考えが頭の片隅をちらついています。目標を健康寿命を延ばすこととしてエントリーを続けています。いつまで元気に走ってくれるのかを心配しながらエントリーを続けていましたが、今年も1年間をしめくくるチャレンジカップに出場することができて嬉しく思っています。

年齢のせいで体力の衰えも感じつつありますし、悪天候の影響も心配しましたが、幸運にも怪我もなく決勝に残ることができ、そのうえ優勝までしてくれて、よい思い出になりました。

あと半年で11歳になってしまいますが、来年も元気にチャレンジカップへ出られることを目標に楽しみたいと思っています。





小型犬クラス

兵庫但馬

溝渕 千鶴 & ゆず

朝から雨の CHALLENGE CUP でしたが、楽しかったです。

普段は主人とゆずのペアですが、この日はヘナチョコなディスクをゆずが頑張って取ってくれました。

これからも少しずつ、このようなイベントで楽しみたいと思います。



初めてのCHALLENGE CUP楽しかったです。

これからもゆずと楽しく、がんばっていきたいと思いますので、宜しくお願いします。



小型犬クラス

兵庫但馬

溝渕 昌宏 & ゆず



レトリブクラス

兵庫但馬

荻野 明美 & GISELE

今年のチャレンジカップは、シーズン初めから楽しみにしていました。

昨年9月、TRAD×蓮の子供たちが生まれ、それぞれに成長し、チャレンジカップで会えたらいいなあって、秘かにパパの楽しみだったのです。

で、8頭中4頭で楽しむことが出来ました。

私は、仁とGISELEとレトリブに出場しました。

GISELEは、今まで何度か出てきたレトリブやチャレンジ大会の中で、この日一番の動きをしてくれて、この急成長っぷりに、ディスクを投げながら私が一番ビックリしました。嬉しかったです。

これから先、パパ (TRAD) ママ (蓮) に追いつけ追い越せで ケガなく楽しく元気に成長していってくれることを祈りつつ頑張っていきたいと思います。

ワン達は、人を結びつけてくれます。

ワン達は、会話を弾ませてくれます。

ワン達は、みんなを笑顔にしてくれます。

ワン達に感謝して、【楽しむ】ことを一番に、笑い声の絶えない大会を、これからもずっと楽しんでいけたらいいなあって思います♪

ありがとうございました。

これからもよろしく願いいたします。

Enjoy Disc Dog



レトリブクラス

兵庫但馬

石川 理絵 & Mia

2012Japan Final の会場で産まれてまもないMiaと出会い、その時はまだ家族になるとは知りませんでした。その年の12月東近江の大会でスクスク元気に育ってるMiaと運命の再会。見つめ合ったが最後離れられません。荻野さんをお願いした甲斐あって、Miaと家族となれることが決まりました。

我が家に迎えたのは2012年12月26日。一緒に新年を迎え、一緒に冬を越え、一緒に歩み始めました。彼女はスクスクと元気に育ってくれました。

ちょっと怖がりなところがあり素直で明るいMiaですが、フリスビー会場に行くとき狂犬となり、目を血走らせコートに入ろうと必死です。

そんな彼女がデビューしたのは2013年5月三木でのレトリブ大会！家ではフリスビーもしたことなくレトリブも勿論教えていません。靴やスリッパに興味がある事ぐらいですが、荻野家のお誘いのおかげで兄妹犬でデビューに参加出来ました。

ロングリードをつけての出場。勿論呼び戻しもできてません。1Rはボールで。2Rはローラーで。どこで習ったのか一人前にレトリブしてきました。蓮ママのお腹の中にいるころから、もしかしたらもっとも前からフリスビーを知っていて「あたし知ってるもん。こうやるんやろ？早くしたかった！フリスビー大好きやねん！」と言っているようでした。

その後は会場でお友達になったフリスビードックの大先輩の皆様には練習の仕方などを教えていただき1歩ずつ上達し始めました。

2013年チャレンジカップも兄妹犬で参加できてとても楽しかったです。主人とMiaはチャレンジ大会、私とMiaはレトリブ大会に出場しました。1Rも2Rも決勝Rも精一杯頑張ってレトリブで2位に輝きました。Miaの1年目のフリスビーライフはシルバーで終わりました。楽しかったです！

最後になりましたが、いつも一緒に頑張ってくれる家族、応援したくさんのことを教えて下さる諸先輩方々、お友達の皆様、本当にありがとうございました！





レトリブクラス

兵庫但馬

中川 ゆかり & アレス

当日は雨で、ときどき車が揺れるような突風が吹く朝で、昼頃には前線がやってくるという、心が折れそうな1日でした。

レトリブだし、天気が荒れたって場外にさえ投げなければOKとリラックスしたつもりで1投目がまさかの場外で、その後はアレスがスタートライン手前にディスクを置いたり、スタートライン手前で立ち止まったりと普段はやらない行動をして、焦ったり冷や汗をかきっぱなしの1日でした。おとぼけモード全開のアレスだったので、決勝になんて残れないとあきらめていたので、決勝枠の5チームに残れたと聞いた時はびっくりでした。決勝戦では、ディスクを弾いて距離を伸ばしてのアシストキャッチを決めて、唯一の見せ場を作って前半戦の穴埋めもしてくれました。

アレスは、子犬の頃からディスクドッグとして育てたくて迎えた初めての犬でした。なのに訓練の仕方もよくわからず、なかなかキャッチ率もあがらず、気がつけばチャレンジカップへは、5年連続でレトリブクラスにエントリーしています。

来年のチャレンジカップこそは、レトリブクラスからチャレンジクラスにクラスアップできるように、更なる進化をとげたいです。



トライアルボール OP・SDクラス

兵庫但馬

辺見 浩司 & ノアール

2013シーズンから、JFAに参加させて頂き、お世話になっています。20周年記念大会のルール改正で、チャレンジカップに出場できたこと、またOP・SDの2クラスに優勝できたこと、とても嬉しく思います。この1年本当にありがとうございました。

雨天での大会や6回の競技、どちらも初めての経験で、ノアールの毛は、水を吸い込み易い毛質なために、すぐに鶏ガラようになってしまい、水も苦手なため、最後まで競技できるか心配でした。1ラウンドはあまり濡れずに済みましたが、2ラウンド目、決勝ラウンドは、胸のあたりまでズブ濡れになりました。

最後のOPクラスの決勝ラウンドでは、6回目の競技ということもあり、雨の中タイムアップ後に戻ってきた時でした、初めての事で驚きましたが、もう充分だったのでしよう、ライン手前でボールを置いて、スローイングエリアのフェンスに先に戻ってしまいました。でも本当に良く頑張ってくれました。

ノアールは小さい頃から走って遊ぶのが好きだったので、7ヶ月の時にパテラの手術を決断し、術後リハビリが一段落したころから、持って来て遊びを始めました。

その後、休日一緒に遊びに行くために、毎日の散歩を共に楽しむために、ドッグスポーツやK9ゲーム等いろいろと挑戦し、その中でもボールやおもちゃを持って来ては、友達と遊ぶのと同じくらいとても楽しそうに遊んでくれました。

トライアルボールドッグゲームに参加して一番難しく感じるのは、公式の小さく軽いボールをうまくバウンドさせて安定して投げることで、力んで引っかけたり真下へ投げてしまうことも多く、大会ではいつも謝ってばかりの飼い主です。

飼い主は将来小型犬大会にステップアップしたくて、ヌスピー等も参戦時から、使って遊んでいるのですが、2メートルから先のキャッチを伸ばしてやる事が出来ずに悩んでいます。

2014シーズンは、ディスクで大会に出るのを第1目標にして、楽しい1年にしたいと思います。今後ともよろしく願いいたします。





トライアルボール OPクラス 兵庫但馬

石川 理絵 & LEON

LEONは5歳後半の男の子です。パピーのころからボール遊びが大好きな男の子でした。レトリブを教えたらすぐに覚えて、更にボールが大好きになりました。frisbeeでも遊ぶ、元気いっぱいの優しい男の子に育ちました。

我が家はまだJFA活動をしておらず、公園でLEONとfrisbeeやボール遊びをしてました。だけど、frisbeeがうまく投げられるのはパパだけ。当初私のfrisbeeは15m飛ぶか飛ばないかで、ボール遊びの相手しかできませんでした。

そんな我が家も2011年冬、黒丸のS.Aで出会ったJFA会員の新屋家の勧めがあってJFAに入会。3歳を目前に、LEONは晴れてfrisbeedogの仲間入りが出来ました。パパとはfrisbee、ママとはボールで出場した2012年チャレンジカップトライアルボールは2位に終わりました。

2012年年末に可愛い妹、Miaが家族に仲間入りをして、チャレンジカップに出ることになったので、LEONも前年のリベンジをかけてトライアルボールに参加させていただきました。小型犬の多いトライアルボールで体格ではボーダーコリーのLEONが有利なはずなのに、またまた勝てず。

私はボールを遠くまで飛ばせずLEONがそんなボールを突いてPOINTエリアを延ばすのが私たちチームの形です。敗因は上手に投げられない投げたの私です。そしてトライアルボールの奥深さを再確認しました。

今では私もLEONとfrisbeeができるようになりました。来シーズンはレディーズに参加していこうと思います。LEON、これからも一緒にゲームを楽しんでいこうね！

いつも見守り応援・指導してくれる皆様、大会への長距離を運転し一緒に練習し楽しんでくれる主人、本当に感謝の気持ちで一杯です。ありがとうございました。



トライアルボール OPクラス 兵庫但馬

松尾 絵里 & EVE

1ラウンド目は、イブちゃんと意気が合い、良いスタートを切ることができました。

2ラウンド目は、2人のやる気が強く、私がボールを投げても、イブちゃんがボールを見失うというのが続き、なかなかうまくできませんでした。

決勝戦では、何とか3位に入って、トロフィーと表彰状が欲しかったので、絶対に頑張ろうと思い、イブちゃんと力を合わせて頑張る、3位に入賞できました。

イブちゃん！一杯走って、頑張ってくれてありがとう！



トライアルボール SDクラス 兵庫但馬

山川 由美子 & のあん

昨年5月、主人が以前からfrisbeeの大会に興味があったみたいで、興味無しの私を連れて三木の大会に会場へ。

観戦して衝撃の連続。参戦されている投げ手の迫力とそれを懸命に追うワンコ、人もワンコも楽しそうな姿を見て、感極まるものが一気に込み上げてきました。

帰りの車中、主人が、いつか自分も参戦したいと発言。なら、私はサポート役で協力する話をしていました。

主人は何度かささと参戦。応援に励む私。

ある時、諸先輩からトライアルボールに参戦してみたらとアドバイスを頂きました。

昔から道具を使うスポーツ全般センスゼロの私。でも、私も参戦したいと思い、昨年12月の池田市の大会に初参戦させて頂きました。

地元とあって、多数のワン友さんが応援に来てくれました。やはり…、私の投げ方がおかしいと…、手と足が一緒に出て投げると、皆、口を揃えて言われました。

チャレンジカップまでに、まともな投げ方をマスターして、のあんがキャッチしやすい場所へ投げるぞ!! と思い、公園で練習を続けるが一向に直らない。

参戦当日が雨と想定して、雨が降る中、雨が苦手なのあんと一緒にボール遊びをしたりしていました。参戦当日は雨。のあんのコンディションは申し分なし。

私は、参戦中ラインを踏む、ボールは滑って足元へボトンと落としたり、飛ばなかったりとアクシデント…。

そんな中、私の投げるボールを懸命に追いかけてキャッチ



してくれるのあん。そんなこんなで、いろいろな思い出が詰まったチャレンジカップで準優勝出来た事は嬉しい限りです。のあん、ありがとう！



トライアルボール SDクラス 兵庫但馬

島村 葉子 & プリン

プリンとは3歳になるまでボールを咥えてはただ走っておりました。

それは先住犬のミルフィーがボール、ディスクに異常なほど反応する為に、投げは危ないのでしておりませんでした。

3歳も迎えたので躰の為に1週間に1度だけ家族にミルフィーの散歩をお願いして、プリンだけを連れて公園に行く事にしました。

初めてボールをほってみるとプリンとは真っ直ぐに私の所に戻ってボールを手元でドロップするのではないですか。何も教えていないのに…、驚きました。

もしかしたらJFAの大会トライアルボールにエントリー出来るかもしれないと嬉しくなりました。

それから1週間に1度ボール投げが始まりましたが、そんなにスムーズに行くはずはありません。ボールは大好きなので反応は凄いですが時々銜えては走り回っています。

そんなプリンがチャレンジカップでよそ見もせずしっかり私の所に戻ってきてくれました。

大満足のチャレンジカップでした。

本当に楽しかったです。

少しでもレベルアップしていけるように私が頑張らなければ。



トライアルボール SSクラス 兵庫但馬

杉岡 彰子 & アークー

娘が、犬を飼ってほしいと願った犬がアークーでした。何も知らず、可愛がるだけの毎日が、福原さんの「犬の一生は短いから、その生きた証に輝く時を、飼い主が機会を作ることも有じゃないか。」の言葉に賛同して始めたトライアルボールデビューでした。

犬の扱いも、ルールも、失敗を繰り返しながら覚えていったけれど、なかなか一筋縄にはいきませんでした。そのうち、私もアークーも年を重ねて、気がつけば11歳を過ぎていました。

当日は、悪天候で足元は滑るし、ドロだらけの芝がアークーの口の中に入ったりしたけど、一生懸命、大好きなボールを追いかけて「投げて、投げて。」と要求してくるけなげな姿が、いじらしかったです。

でも、私は体力的に、一生懸命投げているにもかかわらず、前に飛距離が伸びず、5ポイントエリアにしか飛ばず、歯がゆい思いで焦ってミスばかり連発。

その時、後ろから厳しい口調で「何やってるんや！ 何回ミスばかりしてるんや！ 犬に謝れ！」と檄が飛んでくるし。

私だって、アークーに申し訳ないと思い、必死でやってるんやけど、精一杯なんやけど…。あーもう、超最悪！ だけど、アークーは「走りたい！ もっと速く走りたい！ マ



マ、もう一回、もう一回なげて！」と楽しく駆けて来る姿に、アークーを軽やかに走らせてあげたい一念で、寒さと風とドロにめげず頑張ったゲームでした。

結果は優勝に結びつきました。娘とも参加できたチャレンジカップで、本当にうれしい思い出のページが輝く一日となりました。アークーと長い間続けてきたことが、やっと実を結んだ日でした。

そして、応援して下さいました福原さんや、姫路ファンドッグの人々には感謝しています。ありがとうございました。

お見苦しいところも多々ありましたが、また頑張ります。



トライアルボール SSクラス 兵庫但馬

溝渕 千鶴 & アトム

朝からの雨に、たしか3年前の初めてのJFAの大会も雨と雷だったな…と、その雨の中、大会参加者の方々は、カップと長ぐつに着替え、何事もない感じで試合を続けられるのを見て、皆さんの本気に引きまわっていたのを思い出し、良く続けてきたなど、感慨深い想いでした。

ゆずの弟分のアトムと、いつか、ディスクで試合に出られる様に頑張ります。





キッズクラス

茨城つくば

増田 雄太郎 & 虎二郎

ぼくは初めてチャレンジカップに出てゆう勝できたのがうれしいです。

相ぼうの、じろうはぼくの投げたディスクを、一生けんめい取りにしてくれるので大好きです。ぼくもその気持ちにこたえてこれからもいいスローを投げたいです。

お父さん、お母さんもれん習につきあってくれました。

ぼくはチャレンジ大会にもでています。チャレンジ大会では5位になれたのがうれしいです。お父さん、お母さんもすごいねと言ってくれました。

これからもがんばります。



チャレンジクラス

茨城つくば

齋藤健太郎 & Kailua-kona

初めてフリスビードッグの大会を見た時、まだ犬のいる生活をしたことがなかった僕は、犬がフリスビーをキャッチして全速力で戻ってくる姿を見て圧倒されました。そのイメージが強すぎて大会に参加しようなどとは全く考えず、何年間か大会には付添いと見学で参加をしていました。

昨年4月にKonaを我が家に迎え、Konaと毎日遊んでいるうちに、最初は全然キャッチもできなかったKonaが成長してくるにつれて、少しずつ大会に出てみたいと思うようになり、今年3月に地元塩谷のチャレンジ大会でデビューする事ができました。

その後、大会に行くたびにフリスビーの投げ方のコツや心構えを先輩方から教えていただき、今回の結果につなげることができたと思います。いろいろなアドバイスをしてくださった先輩方、楽しい大会を一緒に過ごして頂いた方々、本当にありがとうございました。

それから、大会に参加することで、ますますKonaとの生活や遊びが楽しくなり、ドッグスポーツを通じてKonaとの絆が強くなったような気がします。

まだまだ初心者ですが、Konaと楽しい経験がたくさんできるよう今後もステップアップを目指して頑張りたいと思います。



キッズクラス

茨城つくば

大野 成也 & アイル

1R目と2R目は、なかなかアイルとのタイミングが合わなくてファンブルしてしまったけど、3R目は、4投フルマーク入って40P取ることができ、1位は逃したけど、なんとか弟と同点に追いつく事が出来ました。

そして、最後の兄弟対決では、アイルが頑張ってくれたおかげで、なんとか2位になる事が出来ました。

危うく弟に負けそうになったけど、2位になれて嬉しかったです。

2014年も、アイルと一緒に頑張ろうと思います。



キッズクラス

茨城つくば

大野 優陽 & アイル

チャレンジカップ、緊張したけど、すごく楽しかったです。

2Rまでは1位だったのに、3R目に緊張してしまって、うまく投げられなくて逆転されたのがすごく悔しかったです。

やっぱりお兄ちゃんには勝てなかったけど、精一杯頑張ったので、満足です。

それからアイル、いっぱい頑張ってくれてありがとう。

これからも、たくさんディスクしようね！





チャレンジクラス

茨城つくば

小峰 泉 & みぞれ

我が家の長男りんがユースでヤフースタジアムへ連れてってくれたのが10年前。

思いがけずこの日だけは恥じることなくフリスビードッグとして全うし決勝まで行ったっけ。

その頃、けちゃは6ヶ月のパピパピ盛りでした。

まさか、その翌年からグラチャンに出場できるとは…

楽しい時間はあっという間に去り、大会を離れ2年、モヤモヤしている私に1本の電話、これが縁で、1匹残った小さな小さな女の子に出逢いました。

期待に胸を膨らませたものの、覚えも集中もイマイチ(汗)大きな声を出せばドン引き(汗)

嘘だろ～マジかぁ!! 悩みの月日を送る事となりました。

ディスクをこの上なく愛す「けちゃ&あど」とは、間逆なみぞれさん。テンション駄々下がりの俺!見切り発進しか無いのか??

そんな悶々としている時、チャレンジに出してみました。ところが予想に反して、フリスビードッグらしい動きを見せてくれました。大会だと燃えるのか～!お金の掛かる子だ～! ということで、来期は公式戦に挑戦します。

まだまだ未熟でドタバタペアですが、個性あるチームを目指し



成長も楽しみながら頑張りたいと思います。

最後にいつも応援してくれる仲間と家族に「ありがとう」。



チャレンジクラス

茨城つくば

今井 照明 & 鬼平

先住犬、武蔵とJAFへ参戦を続け犬種?個体差?教え方で、フリスビーは向いてないんじゃないか?

上を目指すのは難しいと思い知らされてた時に『鬼平』を迎えました。

ビックリするほどのイタズラ、テンション…。頭を抱える日々でしたが、フリスビーとなると目が生き生き。

鬼平の大好きな事がすぐ見つかりました。回りの方のご協力やアドバイスを頂いて日々、成長する事が出来ました。

(後は、投げしだいですね、汗)

まだ1歳5カ月、これから先も長く競技を続けられるように体作りを頑張ります。

そして…、こちらからも楽しんで参戦して行きますので、宜しくお願いします。



小型犬クラス

茨城つくば

高城 幸紀 & クッキー

犬を飼ったら一緒に旅行したり、河原でフリスビーで遊んだり…、そんな漠然とした夢を抱きながら、我が家が初めて飼った犬がクッキーでした。犬を飼うなら柴犬!!と2人とも決めていました。

クッキーとの生活が始まり、子犬の頃から手探りではあるけれど色々な事をやり、経験させました。走るの大好き、おもちゃ(ボール)大好き、おやつ大好きのちょっとビビリだけど明るい素直な子になりました。次はフリスビーの番だと、意気込んでいたのですが…。

「柴犬はフリスビーなんかやらないよ。」…本当にその通りでした。

具体的な内容は割愛しますが、それからの血の滲むような努力(大げさです)いや忍耐力(クッキーの?!)でフリスビーを持ってかえってくるまでに数か月、空中でキャッチできるまでに1年、大会でなんとかかまもな点数が取れるようになってきたのはここ2、3年です。クッキーの名誉のために付け加えると、自分のスローがダメダメで、緊張してしまうもあり、大会ではクッキーに迷惑をかけっぱなしでした。

しかし、普段フリスビーにあまり興味のないクッキーが、コートに入ると雄叫びをあげてフリスビードッグに豹変するんです。そんなクッキーを見るのが楽しくて一緒に続けてこれたのかなとも思います。

初めてフリスビーに取り組んだJFAで何か記念になるものを手に入れたい、そんな思いで参加した今回の大会で運良く優勝し大きなトロフィーを手にしたことは、クッキーと自分が頑張ってきた大きな証になりました。本当にありがとうございました。クッキーは9歳になりましたが、コートで雄叫びをあげて思い切りスタートする限り、これからも一緒にフリスビーを続けていきたいと思っています。

最後に、毎週のように大会を運営して楽しませてくれているJFAスタッフの皆さん、投げ方のアドバイスなど声をかけてくれる選手の皆さん、会場で応援してくれた見ず知らずの(柴犬ファンの?!)皆さん、そしてクッキーかあさんに感謝の気持ちを込めてこの参戦記を終わりたいと思います。ありがとうございました。そして、これからもクッキーチームをよろしくお願います。





小型犬クラス

茨城つくば

安達 朋宏 & りき

“りき”のデビューは2006年。この年の西日本カップでは、大型犬を押さえビギナーで1位に。翌2007年のチャレンジカップ（ビギナー）では、僅かに及ばず6位決勝に残れず。4年後の2011年のチャレンジカップ（小型犬）では決勝に残るも、4位で表彰台を逃す。今年（2013年）こそ“りき”を表彰台に上げてあげたく頑張りました。

“りき”は、今でも硬いフリスビーが苦手で、目の前に止まった様なゆっくりとしたディスクで無いとキャッチできません。キャッチする際も、“目を閉じたまま口を開けキャッチ”することが多いです。そのためやさしいスローを心掛けてプレーしてきましたが、すでに“りき”も9歳。無理をせず楽しく遊べるよう、今年は“布スビー”で頑張りました。

“りき”はフリスビーと布スビーの違いが判る男（犬）なので、布であればキャッチ出来るんです！！

そして、今年こそ“りき”を表彰台の真ん中にと頑張りましたが…。

“りき”は4ラウンドも走ってくれて、さらに、一生懸命キャッチしてくれました。結果、表彰台の真ん中には届きませんでしたが、2位という“素晴らしい成績”を残してくれました。本当に嬉しかったです。



これも、応援してくれたみんなの声援や、家族の支えがあった結果です。高齢になる我が子とこれからもゆっくりと、長く遊んで行きたいと思います。



レトリブクラス

茨城つくば

水野 由紀子 & 太陽

今年の5月に地球が膵臓癌に倒れ、8月に逝ってしまうまで、お父さんは地球に付きっきりで、太陽とは散歩にも行かず、遊んでもくれなくなりました。遊び相手の猫の六三四も9月に交通事故で入院、お父さん大好きな太陽なのに、今でもお父さんは地球のことを引きずって、太陽と昔の様に向き合ってくれません。

太陽は、少し線の細い所があるので、とても不安になってしまったのだと思います。太陽は、ディスクを咥えなくなっていました。

でも、いつか、お父さんがやる気を出してくれて、それに太陽が応えてくれるようになるまでは、あまり太陽に無理強いしないようにして、また、楽しく太陽がフリスビーを取りに行ってくれる日を待ち望んでいる日々です。



犬と会話ができたら最高ですね！！



小型犬クラス

茨城つくば

今野 和晃 & バッハ

バッハを迎えたのは去年の12月初めのことです。一年後このような日を迎えられるとは思っていませんでした。

4月に応援のため初めて訪れたフリスビー大会、それ以来すっかりはまってしまいトライアルボール、レトリブ大会と出場してきました。ボールを持って来させるところからのスタートで、まさかディスクをキャッチするようになるとは思っていませんでしたが、人間もバッハもこの夏は特訓を重ね、念願の小型犬大会に参加できるようになりました。ここまで飽きずに練習を続けてこれ、フリスビーの楽しさを知ることができたのは、周りの方々に恵まれたおかげで本当に感謝しております。

小型犬大会では1キャッチもできないまま迎えたチャレンジカップでしたが、その後の練習の成果が年度末の大会で今年一番の成績を残せたことはとても嬉しいです。

今回思いがけずいただいたブラックディスク。来年度は

自力で手に入れることを目標に練習に励みたいと思います。ますますフリスビー三昧な一年になりそうです。来年度もよろしくお願いたします。



レトリブクラス

茨城つくば

栗原 孝子 & れん

今シーズンのれんは私の妹とチャレンジクラスで頑張っていましたなかなか良い結果は出ませんでした。

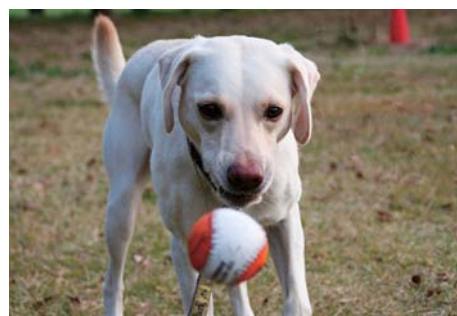
シーズン終盤にれんの大好きなボールなら、と思いレトリブクラスに出てみると結果は2位。

そしてチャレンジカップでの決勝進出と3位入賞、本当にうれしかったです！

このことがきっかけで来シーズンはれんとフリスビーで頑張ろうと思うことができました。

運営スタッフのみなさん、参加選手みなさん、そして家族、いつも本当にありがとうございます。

また来シーズンもよろしくお願いたします。





トライアルボール OPクラス 茨城つくば

川上 優子 & ゆず

この度のチャレンジカップ・トライアルボールでこのような賞を貰えたのは、体調不良だったにも関わらず、一生懸命頑張ってくれた我が娘ゆずのお陰です。

一位と言っても実際のところポイントはたった3点で、とても褒められた点数ではありませんでしたが、車に5時間も揺られ治る間もなく私が投げたボールをたった一回でも持ち戻って来てくれた事。

親バカですが、それだけですごく感動し、何も言葉がみつかりませんでした。

引っ込み思案な私がフリスビー・ドッグを知り、やって見たいと思ったのはワンコ仲間から誘われてみに行ったSUGOの大会でした。

フリスビーやボールを通して愛犬と一体になれば、愛犬の何より嬉しそうなキラキラとしたとびきりの笑顔が見られる。私もゆずのそういう顔が本気で見たいと思いました。



その為に、愛犬に置いて行かれないように、まずは自分の練習を重点的に頑張っていきたいです。



トライアルボール SDクラス 茨城つくば

川上 暢明 & ゆず

今年ワンコ仲間から誘われて、やり始めたトライアルボール。まだ始めたばかりで、このような賞が貰えた事に、とても嬉しく思います。…と言いたい所ですが、とても手を叩いて喜べるような結果ではありませんでした。

後になって発覚した事ですが、当日ゆずは車酔い & 膀胱炎で、まともに走れる状態ではなかったはずなのに、それでも頑張ってくれて、体調不良に気づいてやれなかった事に申し訳なく思います。

次回からは、ゆずが笑って思いっきり走れるように体調を万全にしてチャレンジしていきますので、これからも宜しくお願いします。



有難うございました。



トライアルボール SSクラス 茨城つくば

平岡 啓子 & のあ

チャレンジカップがのあと私にとって大舞台の場。のあが元気でいてくれたおかげで今年も参加することが出来ました。

実は毎回密かに優勝を狙っていたんです。

私とは違い、のあは本番にはめっぽう強いし、その実力もあったと思うからです。

なのに今一步届かずで、2位や3位に甘んじてきました。

原因はそう私です。一昨年だったかな？フットフォルト(しかも2回！ありえないっ)をやらかしてしまい、

それがなければ念願の優勝だったのに、見事につかみ損ねるという失態。

あの時はのあに本当に申し訳ないことをしました。

見た目は幼く見えるのあも8才になり、スピードにも衰えは見えてきましたが、スタート地点で「レディ・ゴー」の合図待ちの時の、ヤル気マンマンな力強い瞳は変わらずです。

今年のはあが楽しく出来ればいい的な気持ちで参加しましたが(でも出来るなら優勝したい)、なんとトライアルボールクラスの各エントリーが1組というちょっと寂しい状況…。

でも、のあにしてみたらそんな事、関係ないですよ。

今までのあが元気で頑張ってきたご褒美として、競わずとも優勝したことを素直に喜びたいと思います。

これからも変わらず楽しく参加出来たらいいなあ、そうなるように、しっかりとケアして、みなさんに「のあ、すごいねえ」と言ってもらえるよう頑張ります。

…でもやっぱり1人参加は寂しいので、出来れば前みたいにかくさんの人が参加して切磋琢磨しながら、やれたらいいなあと思います。

みなさん、是非参加しましょう！！





ファーストチョイス



ニッケペットケア株式会社



PRO PLAN プロプラン



BLACKWOOD®
Premier Nutrition



ARTEMIS™

HOLISTIC APPROACH TO PET FOOD™

「ジャパンファイナル 2013」開催にご協力いただいた企業の皆様



Giving Shape to Ideas

画像・映像・情報コーディネーター

コニカミノルタNC株式会社

取扱商品 コニカミノルタデジタル複合機・印刷機・A V 機器・メディカル機器・写真機材

■本社 新潟市江南区亀田工業団地1-2-13 a 025-383-3304
■上越 上越市栄町 2-5-7 a 025-543-6119

■長岡 長岡市三ツ郷屋町387-1 a 0258-28-4705
■新潟田 新潟市富原町2-17-5 a 0254-23-5802



ホテル イタリア軒

伝統と格式の老舗ホテルが、創業140周年を迎えました。

おもてなしの心とあたたかいサービスで皆様のお越しをお待ちいたしております。

〒951-8061 新潟市中央区西堀通7番町1574番地
TEL.025-224-5111 (代) FAX.025-224-7679

大規模集会から各種合「お弁当・お食事」の事ならお任せ下さい。
●弁当・料理の製造販売
●委託給食運営（社員食堂・保育園・デイサービス等）
●各種ケータリング（出張パーティー・ドリンクサービス等）
●雨天対応ご相談下さいませ。

株式会社 味家

〒950-1101 新潟市西区山田 2310-1
TEL.025-201-2210 HP <http://www.kamiya3.jp>
FAX.025-201-2220



新潟の名産・特産品なら！
地酒・米・鮮魚・産直野菜・銘菓・ご当地グルメ

新潟ふるさと村

〒950-1101 新潟市西区山田2307

●年中無休 ●全館入場無料 ●大駐車場完備

【バザール館】TEL.025-230-3000 □1F 9:30~17:30/2F食堂街 11:00~15:00
【アビール館】TEL.025-230-3030 □9:00~17:00 ※店舗により異なります



いつもの
ごはん

healthy and good balance



新潟のノドをうならせる、うまみと爽やかな。
風味爽快ニシテ

Peak Performance®



総合印刷・広告代理店
フェイス株式会社
〒950-0864 新潟市中央区紫竹1-16-6
TEL.025-243-1110 FAX.025-243-1115

ケージをクルマにセットしてフリスビードッグへ行こう！
NEEDSBOX

4WHEELS PLUS FRISBEE DOG
株式会社ニース札幌 北海道札幌市東区栄町699番地1-2
☎ 011-786-1313 <http://needsbox.jp>



EARTH WING
株式会社 アースウイング

New-HALE® Always supports your active life.

株式会社ニューハレックス

〒438-0086 静岡県磐田市見付3999-12
TEL 0538-35-5555 FAX 0538-35-5580
✉ info@akuta.co.jp
<http://www.new-hale.com>



豊かな調和の取れた社会を作る
グリーン産業株式会社



デビフペット株式会社

SKYDOG SPORTS Vol.24

2014年1月号

発行元 日本フリスビードッグ協会
〒950-0993 新潟県新潟市中央区上所中 2-1-6
TEL.025-280-1256 FAX.025-280-1257
URL:<http://www.frisbeedog.co.jp>